

たくみ

T A K U M I

No.027

平成23年1月●新春号
信州名匠会

(題字：故 池田三四郎 前名誉会長)

たくましい「たくみ」の会として成長を 平成22年度・第18回総会開催

信州名匠会（宮本忠長会長）は6月23日、長野市のメルパルクNAGANOで第18回通常総会を開き、平成22年度の事業計画などを決めた。あいさつに立った降幡廣信副会長は、「一つ一つの節目を大事にしていくことで名匠会がたくましく成長し、存続することができる」として、会員に研修会等の活動への一層の協力を求めた。

平成22年度事業については、技術の伝承や後継者の育成に関する事業のほか、優れた職人の発掘や紹介、会報たくみの発行、「信州名匠会たくみ文庫」の編集出版、県産材材料の



45名（懇親会には40名）が出席して開かれた総会

調査や研究発表などを行うことを決めた。

スリースター制度では、40人が新たに認定を受けた。

総会後の講演会では、東京理科大学理工学部の川向正人教授から、「小布施町・まちづくりの軌跡～チャレンジの積み重ね」と題して、住民主体による町並みの修景についてお話を聞いた。



会員にスリースター制度認定書を手渡す降幡副会長

吉田義男さん（当会顧問）ご逝去



信州名匠会の顧問で、株式会社新建築社相談役（元代表取締役会長・社長）吉田義男さんが、9月21日、ご逝去なされました（享年82歳）。建築雑誌「新建築」を通じ建築界に多大な貢献をされ、本会にとっては設立当初より、多大なご協力をいただきました。謹んで吉田さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

吉田さんは信州名匠会設立時より、毎年総会に出席していただき、翌日は長野カントリークラブで、亡き村松禎治郎前会長と共にプレーを楽しまれました。その際、毎回唐津焼きのお皿を持参され、優勝者にさしあげて下さるなど、会員に常に温かく接していただきました。村松前会長がご逝去された翌年から、吉田さんも体調を崩され、総会等への出席は難しくなりましたが、その後も、会の発展のためご尽力いただきました。吉田さんは、職人の会の必要性を認識し、信州名匠会のような組織が全国各地にできることを願っておられました。

平成11年より平成18年まで、吉田さんのご尽力により、(財)吉岡文庫育英会の研究助成金として多大な寄付をいただきました。信州名匠会は、吉田さんの意志を汲み、育英会と助成金の主旨が末永く反映するような活用方法を検討していきます、会の目的の実現に会員一同努力してまいりたいと思います。

合掌

平成22年度通常総会 記念講演会

「小布施町・まちづくりの軌跡～チャレンジの積み重ね」



講演する川向正人氏

東京理科大学工学部建築学科教授・現代建築都市研究者
東京理科大学・小布施町まちづくり研究所所長 川向正人氏

本年春、『小布施 まちづくりの奇跡』（新潮新書）を出版した川向氏は、住民主体のまちづくりの展開を主題に語りかけた。

「まちに大学が、まちを大学に」

川向氏が所長を務める「東京理科大学・小布施町まちづくり研究所」は、2005年夏に設立された。自治体と大学が共同出資して調査研究と政策提言を行うまちづくり研究所としては、全国で初の事例。大学院生などが常駐し、町職員や住民と交流しながら調査研究を続け、論文を執筆している。

「その内に身を置けば、心身が開放されるし、癒されるし、一過性ではない本当の元気も湧いてくる」理想の場を「小宇宙」と呼ぶ川向氏は、「小布施にそれを見つけた」と語る。まちづくり研究所は、小布施のまちづくりの本質を探し、住民主体のまちづくり・景観づくりへと発展させると同時に、その動きを全国・世界に向けて発信するための活動拠点と位置づけている。

「まちも、むらも」

川向氏が見つけた小布施の本質が、今の小布施町の原型となる十六の集落の存在。数百年の歴史を有する集落の集合体が小布施であり、小布施は一つであって一つではない。それぞれの個性を尊重しつつ融合した全体が「小布施らしさ」を醸し出していると語る。その視点と言葉のとおり、川向氏は学生や住民と一緒に、町並み修景事業が進む中心部だけではなく、「むら」の暮らしが続く周辺部に積極的に足を運んできた。

里道(りどう・さとみち)・赤線と呼ばれる小道が745本もあることを現地踏査で明らかにし、まちとむら、むら同士、家と家、人と人をつなげる存在としての活用を提言している。扇状地の地表を覆う20数本の用水路にも光を当てる。

こうした提言は、現在の市村町政が進める周辺部の活性化策にも運動し、すでに各地域で新しいお祭りや畑の納屋を会場にした都市住民との交流パーティー、農家の蚕室のオープンスペース化などに実を結んでいる。

中心部でも、扇状地の地形・地質を生かした「森の駐車場」や、農家の通り門を想起させる形の「門」から北信五岳を望むことのできる小布施駅の公衆トイレの設計などにも、川向氏と同研究所の提言や指導が反映されている。



「小布施のまちづくり」をテーマにした川向教授の講演を聴く会員

「保存」と異なる「修景」

小布施のまちづくりのキーワードである「修景」を川向氏は、「景観に欠けたところがあればそれを補い、不要のものは取り除き、乱れたところは整えて、一つのまとまりのある景観、一つの世界をつくり上げること」と定義する。歴史上のある状態に復元保存する「町並み保存」との本質的な違いは、「継続性」であり、たとえば「新旧の土壁のつぎはぎが時間の重なりを視覚化」するような「自然態」にあると語る。

身の回りのすべてのものが修景の素材になりうるから、自宅の庭を一般に開放する「オープンガーデン」や、果樹地帯を散策してぶどう園でおやつを楽しむ交流事業の「カントリーウォーク」など、住民主体の日常生活に根ざした活動が自然に発生してくる。住民の参加意識は、道端の花壇や田畑の畦を整えるなど、住民による修景の輪の広がりにつながっている。

うちふところ 内懐の深いまちづくりを世界へ発信

小布施のまちづくりの本質を語る言葉に「外はみんなのもの、内は自分たちのもの」という意識がある。川向氏はオープンガーデン事業が最も良い例という。また、内と外の関係、内と内をつなぐ「間」の大切さを象徴する存在として、北斎館北の「栗の小径」や、小布施堂本店北の「風の広場」をあげ、「こうした内懐のような空間を、都市は持つべきだ」と語った。

小布施にも数多くの課題がある。たとえば、町中心部を南北に貫く国道403号の存在。近代化とともに、車がわがもの顔で走り抜ける現状をどのように改善し、歩いて楽しい空間を再生するのか。沿道の住民が協働するだけでなく、町の内外の知恵を生かす姿勢が問われている。

過去30年、日本のまちづくりの代表例として注目を集めてきた小布施のまちづくりについて川向氏は講演の冒頭、「英語で世界に発信すべきもの」と評した。受信の量と質は、発信のそれに比例する。お話を伺いながら、受発信を行う「交流」のパラボラアンテナを最大限に広げるステージに、小布施はいると感じた。

(文責・木下 豊)

十九ツ星1名、十八ツ星1名など40名の新認定者が誕生

～スリースター制度規認定者紹介～

「スリースター制度」は、月1回の定例研修会に熱心に参加している会員の努力をたがいに認めあい、その誇りを励みに日々の仕事を高めあおうと、平成11年に創設された。研修会へ1回出席するごとに1単位を加算し、10単位で星1つを与える。発足から11年を経て、今年度は十九ツ星認定者1名をはじめ一ツ星までの新規認定者40名が誕生し、通常総会において認定証を授与された。貴重な研さんの場である定例研修会への、会員諸氏の精力的な参加に、ますます期待が高まっている。

◆「スリースター制度」平成21年度認定者

(平成22年6月現在、五十音順、敬称略。○は今年度の新規認定書授与者)

☆☆☆十九ツ星1名☆☆☆
○西澤嘉雄／(有) エヌ設計

☆☆☆十八ツ星1名☆☆☆
○坂田守夫／坂田工業 (株)

☆☆☆十六ツ星1名☆☆☆
○堀誠／建築工房アカシヤ

☆☆☆十二ツ星1名☆☆☆
五明良平／(株) 五明

☆☆☆十一ツ星1名☆☆☆
中村光敬／(有) 中村木工所

☆☆☆十ツ星2名☆☆☆
○高木茂美／松田産業・南信 (株)
○吉田雅彦／(有) スタジオスペースツ

☆☆☆九ツ星4名☆☆☆
○小川明／建築工房空
○宮下恒夫／サンコー特機 (株)
高梨廣男／(有) 高梨建築
○西宮登喜男／(株) 綿内瓦工業

☆☆☆八ツ星2名☆☆☆
○鎌倉良収／(株) 鎌倉材木店
○鈴木隆／ルームデザインハウス

☆☆☆七ツ星6名☆☆☆
○山本耕平／長野サウナ販売 (株)
○宮本忠長／(株) 宮本忠長建築設計事務所
○竹内公夫／(株) ビホームテクノクリエート
○伊藤章／(有) アキ・プランニング
水沢仁亮／(株) 二見屋
○増田幸雄／匠建設 (株)

☆☆☆六ツ星7名☆☆☆
○町田幸一／(株) 町田電機商会
○久保敏幸／(株) さつき苑
○犬飼栄治／(株) シナノ大理石
○岩井秀樹／岩井工業 (株)
○西澤 広智／(株) 宮本忠長建築設計事務所
○樋口豊／(株) ライフエンジニアリング
宮澤郁夫／宮澤建築

☆☆☆五ツ星5名☆☆☆
○佐藤光博／(株) 二見屋
○内山保／朝陽工芸 (有)
○海野政也／(株) 海野鉄筋工業所
宮川裕行／三ツ友建築企画
渡辺昌祺／渡辺硝子建材 (株)

☆☆☆四ツ星5名☆☆☆
○大庭修／(株) トライアン
岡澤元彰／(株) 本久
○井内猛男／(株) 井内工務店

藤沢和裕／(株) 山二
倉橋英太郎／(株) 倉橋英太郎建築設計事務所

☆☆☆三ツ星7名☆☆☆
○山田一忠／インテリア販売ヤマダ
○出澤潔／出澤潔建築設計事務所
○村越久子／雪しろ窯
中村泉／(有) ビーイング
○落合一視／落合コンサルタント
山崎邦男／山崎工務店
山中袈裟嗣／山中桐箱店

☆☆☆二ツ星17名☆☆☆
小林清英／(株) 清蘭堂
坂戸雄世／(有) サカト産業
常田亀久夫／(株) 菅平土建
○川向涼子／(株) 宮本忠長建築設計事務所
○松木和善／(株) 山翠舎
山 慎一郎／(有) 山崎屋木工製作所
○藤田勇／藤田建築
○嶋本耕三／(株) 宮本忠長建築設計事務所
鳥羽英夫／長野サウナ販売 (株)
○平林幹久／(株) INAX長野営業所
荒井和夫／(株) 荒井造園
○栗原直良／(株) 新建新聞社
左右田光／インテック左右田
降幡廣信／(株) 降幡建築設計事務所
矢島建二／(株) 矢島工務店
○荻原弘司／(株) 本久
関克弘／坂田工業 (株)

☆☆☆一ツ星9名☆☆☆
前島浅男／大工
○山口真一郎／(株) サンワ
○長澤和芳／(株) 角藤 長野本部
松下重雄／(有) みずぶ設計
五十嵐厚生／(株) 井内工務店
○中沢英雄／(有) 中沢建具店
東出輝彦／ステンドグラス作家
柳沢邦夫／(有) 柳沢木工所
小山巧／(株) 田澤工務店

平成21年度 信州名匠会 事業報告 (人数は参加者)

平成21年

6月25日 (水) 第17回通常総会・講演会・懇親会「たくみ」23号 夏号発行
7月 8日 (土) 第1回研修会 小布施町立図書館「まちとよテラス」
完成見学会 29名
8月26日 (水) 第2回研修会 蘇った芝居小屋「蛭子座改修工事」22名
9月11日 (木) 親睦ゴルフ大会 菅平グリーンゴルフ 16名
9月26日 (土) 第3回研修会「亀田さんの住まい新築工事」現場見学会26名
10月23日 (金) 第4回研修会「茶室ってなんだろう」21名
11月 7日 (土)～11月8日(日) 研修旅行「福井県の建築をたずねて」33名
12月17日 (木) 第5回研修会「太陽光発電に関する勉強会」21名

平成22年

1月20日 (水) 新年会 四川楼 36名
1月21日 (水) 「たくみ」23号 初秋号発行
2月24日 (水) 第6回研修会「民家構造模型と工法の説明」23名
3月28日 (金) 第7回研修会「桐箱職人・伝統の技」
ビデオ映像完成発表会 25名
4月13日 (水) 平成21年度 第一回理事会
4月17日 (土) 第8回研修会「陶芸教室」26名
5月26日 (水) 第9回研修会「オール電化は本当に一番安いのか？
エコウィルとは？」23名

平成22年度 信州名匠会 年間スケジュール

平成22年

6月23日 (水) 第17回通常総会・講演会・懇親会 (総務)
7月28日 (水) 第1回研修会A (事業)
8月25日 (水) 第2回研修会B (技術)
9月 8日 (水) 親睦ゴルフ大会C (交流)
9月29日 (水) 第3回研修会A (事業)
10月27日 (水) 第4回研修会B (技術)
11月 6日 (土)～7日 (日) 研修旅行A、B、C (交流)
12月 1日 (水) 第5回研修会A (事業)

平成22年

1月19日 (水) 新年会C (交流)
2月23日 (水) 第6回研修会B (技術)
3月23日 (水) 第7回研修会A (事業)
4月23日 (土) 第8回研修会「制作教室」B、C (事業)
5月25日 (水) 第9回研修会B (技術)
6月22日 (水) 平成23年度 通常総会

※研修会 場所：基本会場 (株) 宮本忠長建築設計事務所
時間：18：30～20：30

※研修内容・場所・日時については決定次第、順次お知らせいたします。

A 学習 B 見学・実習 C 交流 カッコ内は担当委員会

親睦ゴルフ大会 藤田勇さんが優勝

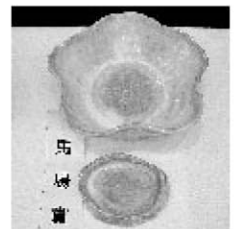
健康の増進と会員同士の親睦はかる恒例の懇親ゴルフコンペが9月8日、菅平グリーンに14名が参加して行われました。残暑が続いていましたが、さすが菅平は真っ青な空が広がり、涼しくさわやかな気候で、ゴルフには絶好のコンディションでした。藤田さんが、グロス81という素晴らしいスコアで見事優勝されました。一位は山田さん、二位は落合さんでした。和気あいあい楽しい一日となりました。参加者はつぎの通りです（敬称略、順不同）。

坂田守夫／坂田工業（株）、西澤嘉雄／（有）エヌ設計、落合一視／落合コンサルタント、山田伸一／インテリア販売山田、佐藤満博／二見屋、西澤広智／（株）宮本忠長建築設計事務所、小川明／建築工房空、大日方幸生／本久、吉田雅彦／（有）スタジオスペースツー、藤田勇／藤田建築、風間洋二／角藤、西由紀子、朝日伸一

雪しろ窯陶芸教室（平成21年度第8回研修会） 井内副会長賞に山口真一郎氏

4月17日、村越久子氏（創造学園大学芸術学部教授）のご指導のもと、「雪しろ窯」（上田市武石）にて恒例の陶芸教室が開かれた。会員のご家族など26名が参加して開かれた。お昼をいただいた後、スタッフの方々によるマンツーマンの指導を受けながら、皆、思い思いに土と向かい合った。常連の参加者は総会での展示を意識した大作を仕上げている。総会会場では、参加者の作品が展示された。今年も傑作には「井内副会長賞」、「村越賞」などそれぞれ賞が贈られた（敬称略）

- 井内副会長賞 山口真一郎／（株）サンワ
- 降幡副会長賞 西澤広智／（株）宮本忠長建築設計事務所
- 村越賞／犬飼栄治／（株）シナノ大理石
- 馬場賞 堀幸一／建築工房アカシヤ
- 東賞 西澤みゆき
- 川向賞 宮川嘉奈子



堀幸一さんの作品

定例研修会●Report

(平成22年5月～10月)

平成21年度第9回研修会 【オール電化は本当に一番安いのか？…エコウィルとは？】

5月26日(水)

講師：塩入 賛氏 長野都市ガス株式会社 営業開発部

参加者：23名

太陽光発電の補助政策がカギに



環境に配慮した建築を目指す上で注目されている、ガスを暖房・給湯・発電に利用するシステム「エコウィル」について学んだ。オール電化との比較を交え

て、本システムの長所・短所を分かりやすく説明していただいた。エコウィルの特長である発電のシステムは、太陽光発電と併用することでメリットが広がるという。政府の太陽光発電への補助政策によっては、オール電化との競合が生まれ、サービスの低価格化が進むことが期待される。

平成22年度第1回研修会 【日本の文化 再考】

7月25日(日)

講師：降幡 廣信氏 建築家・信州名匠会副会長

参加者：23名

「諏訪大社秋宮参拝・改修工事見学」

今年度第1回目の研修会は、7年に1度の御柱祭が盛大に行われた諏訪大社下社秋宮と、旧中山道の脇本陣にある御宿「まるや」を訪ねた。秋宮は、改修工事が行われており、宮司の案内で左片拝殿の屋根の葺き替え現場を見学させていただいた。椋皮葺の屋根の葺き替え作業の現場では、職人の真剣さが周囲にも伝わって、空気がピンと張り詰めたような、日ごろなかなか見ることの出来ない貴重な体験をさせていただいた。

降幡副会長が手がけた脇本陣の御宿「まるや」では、降幡氏より「日本の文化」についてお話を伺った。降幡氏は、



秋宮にて

李登輝・元台湾総統の言葉を引用して、日本の文化は「自然との調和」「高い精神性」にあると話された。日本の家は、塀の内側に庭を設け、部屋の延長と位置づ

けることで、自然を内側に取り入れている。また、お客さんを迎えるときに、手をついて膝を折って「ようこそおいでくださいました」と迎える行為や、習い事、たとえば茶道や書道、華道、あるいは柔道や剣道などのスポーツの姿勢に、心のあり方を高める精神性があると語った。

お話を聞いた後、お膳の料理と椋の風呂の湯をいただいで、心身ともに満たされた研修会となった。



椋皮葺の屋根の葺き替え作業の現場



脇本陣の御宿「まるや」で降幡副会長のお話を聞く

平成22年度第2回研修会 【まち並みウォッチング～長野市民会館見学】

8月28日(土)

講師：西澤 広智氏 宮本忠長建築設計事務所 設計長

広瀬 毅氏 広瀬毅建築設計室 所長

参加者：30名(会員16名)

「建築に込められた、ものづくりの情熱に学ぶ」

今回は、JIA長野県クラブ主催のまち並みウォッチングに、当会研修会として参加した。長野市民会館2階ホワイエにて、JIA長野県クラブの丸山副会長のあいさつの後、当会の坂田専務理事から、信州名匠会とJIAの交流が行われることの意義についてのお話があった。ホワイエで、当時の実施設計図、構造計算書、竣工写真、当時の新聞記事等を観覧し、見学をした。

長野市民会館は、長野市周辺町村の文化コミュニケーションの場として要望され、昭和36年4月に竣工した。市政60周年事業として市費、厚生年金積立金の還元融資、寄付金によって計画され、郷土が生んだ建築家、早稲田大学の十代田教授が建設委員会顧問となり、ホール・音響の第一人者であった佐藤武夫が設計を行った。担当は、当会会長の宮本忠長である。



正面ファサードの穴あきPCブロック見上げ

この建物の特徴は、①現場打ちコンクリートV型梁の採用（スパン30m）、②西陽に直面するホワイト工の明るさを抑制するために考案された、正面ファサードの孔明きPCブロックのトレサリー、③市民会館東側を走る信越本線の音に対する遮音上の目的で採用された、外壁煉瓦張り（ようかん積み）、等である。宮本会長によると、色ガラスがはめ込まれたトレサリーは、陽光きらめく千曲川をイメージしたものであり、外壁煉瓦は、当時明科にあった煉瓦工場の制作したものである。

煉瓦の一枚一枚のテクスチャーを活かした内外煉瓦積み、穴開きPCブロックにはめ込まれたスチールサッシュのディテール等、当時のものづくりに対する情熱をつよく感じた。



外壁煉瓦張り（ようかん積み）ディテール

午後は自由参加で、長野市東町で使用しなくなっていた



舞台見学

ビニール工場を、建築家・クリエイター等7名で組合を作り事務所として活動を始めている「ボンクラ」の活動の場を見学した。

平成22年度第3回研修会 【小布施町第2まち並み修景事業 かんてんぱぱ小布施店新築工事】現場見学

9月25日（土）

講師：西澤 広智氏（株）宮本忠長建築設計事務所 設計長
金田 勝良氏（株）金田工業所

参加者：32名（会員18名）

「萱葺きの古民家 曳き家工事に学ぶ」

現場見学の前に小布施町で計画が進行中の、古民家（池田邸）を活かしたまちづくりの動きについて、西澤氏より説明を受けた。

池田家は明治中期頃、小布施町中町の現在地に移り、精米業等を営んだ。母屋の萱葺き部分は、池田家がこの地に來る以前、江戸末期から明治初期に建設されたと思われる。

2005年に、現在の当主の叔父にあたる青木氏から宮本忠長会長に、「痛みの激しいこの建物に手を入れて残したい」との相談があった。青木氏は宮本氏の旧制中学時代の旧友で大変親しい仲である。宮本氏は小布施町に相談したが、町の施設として改修・維持管理・運営していくことは財政的に難しいとのことであった。



母屋を西に4.8m曳き家する工程

この地区が、北斎館周辺のまち並み修景ゾーンと並ぶ、もう一つの核となることの重要性を考え、「第2まち並み修景計画」としてのコンセプトを明確にした、この地域の全体計画を作成した。この計画の趣旨を理解し事業に参加してくれる企業をあつた結果、平成22年1月、伊那食品工業（株）が池田家の母屋を改修し、かんてんぱぱショップ小布施店とすることに決定した。

見学当日は、母屋部分の曳き家の段取りが完了したところで、金田工業の金田氏に曳き家の仕組み、難しさ、面白さを語っていただいた。



丸い鉄棒（画面中央下）が回転して、上の家屋を左方向へ移動。鉄棒の丸い部分にチョークで引かれた直径の線の回転で、微妙な移動の様子を判断する

今回は根絡み工法を採用し、15ヶ所の10t・20t手動ジャッキを使用。「電動ジャッキではなく手動ジャッキを使用することで建物の重さを感じられ、異常を察知することができる」と言う。「曳き家工事は、二つ先を見越して仕事をしないとダメであり、楽をすると二つ先の工程で苦勞する。一つ一つの工程で勞を惜しまず丁寧に仕事を行うことが大事」など、興味深い話を伺うことができた。

この見学会の翌週、10月2日、母屋を西に4.8m曳き家する工程を、再度見学させていただいた。金田さんの許可をえて、数人がウィンチを回し、一人の力で簡単に動いてしまうことに驚いた。またこの日は体感地震があったが、異常なく作業が完了した。金田さんによると「ワイヤを張った状態では、震度6でも大丈夫」と言う。経験に裏づけられた匠の技術・知恵に感服した。

この見学会の翌週、10月2日、母屋を西に4.8m曳き家する工程を、再度見学させていただいた。金田さんの許可をえて、数人がウィンチを回し、一人の力で簡単に動いてしまうことに驚いた。またこの日は体感地震があったが、異常なく作業が完了した。金田さんによると「ワイヤを張った状態では、震度6でも大丈夫」と言う。経験に裏づけられた匠の技術・知恵に感服した。

信州名匠会ホームページ開設

平成22年8月に、長年の懸案であった「信州名匠会ホームページ」が、ついに始動しました。みなさまのご意見を反映し、よりよいものにしていきたいと思います。

<http://www.meisyokai.com/>